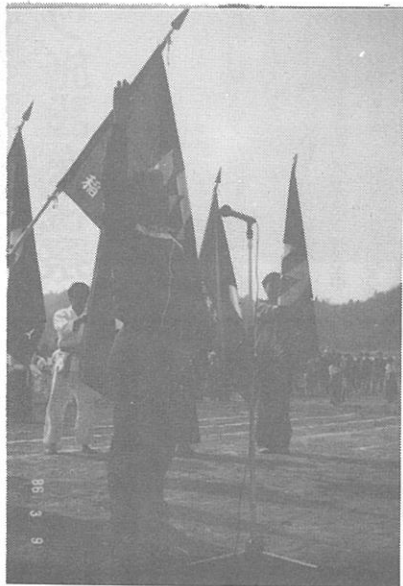




稲城市体協

発行 稲城市体育協会
 電話 0423(78)2111
 内線(620)
 編集 稲城市体育協会
 広報委員会
 発行日 昭和61年4月1日
 年月日 第18号



春風に向って!! ダッシュスポーツ'86



開幕

第14回

稲城市スポーツ大会

陸上競技協会スキー連盟初参加

冬の雪もあつというまに溶け、陽光の降り注ぐ南山スポーツ広場に、多くのスポーツ愛好者が集い、ことしも第14回「稲城市スポーツ大会」(主催、稲城市体育協会・後援、稲城市教育委員会)の総合開会式が、3月9日(日)に行われました。剣道連盟の少年、少女選手が掲げるプラカードには、今大会より新たな種目として、陸上競技とスキー競技が加わり、14競技団体81種目にわたって勝利を競うことになりました。体協のテーマ「スポーツの輪を広げよう」は、確実に稲城の街に根つき、選手一同、又役員は、新たな輪を広げることを含意とし、二ヶ月間にわたって行なわれる熱戦の火蓋が切られました。

尚、開会式の席上で、体協、連盟に功績、功労のあった4名の方々の表彰も行なわれました。

地道な活動に対し 体協功労賞を贈る

体協会では、日頃から地域のスポーツ活動に精進され、体協理事連盟役員として、10年以上に渡り、努力、活躍された方々を、表彰しました。

受賞者4名の皆さまには、稲城市のスポーツの発展の為、今後も更に活躍が期待されております。

加藤 邦男

サッカー連盟

「サッカー連盟にこの人あり」連盟内での人望は厚く、役員経験も豊富で現在も連盟、体協理事として活躍中である。

佐藤 幸代

バレーボール連盟

その間、都民大会代表チーム監督、三多摩クラブカップの市内開催、中でも、一般、中学、少年の各部の設立に貢献された功績は貴重な財産となって残されている。貴氏の持つ「スポーツ全盛にわたる知識は、今後、市内のスポーツ活動にはなくてはならないものである。」

家庭婦人平尾地区連盟委員長、連盟常任理事として活躍、中でも連盟運営のポイントとなる財政面を担当「安定した基盤のない所には安定した運営はできない」と現在の基礎を確立された。

熊本 勝美

剣道連盟

平尾地区に少年剣道「剣友会」を創設して10数年、少年剣道導入の先駆者として指導にあたり多数の右腕者を育成すると同時に、剣道を通して青少年の非行防止に努める。

島田 康治

バレーボール連盟

連盟役員としては、市内剣道団体の連盟加入など統合に努力され、体協理事、連盟理事長、現在は副会長の要職にあり、青少年の指導に専念している。

13年前、連盟過渡期に再建の為に参画、連盟の主要部の審判、競技、総務の各部を歴任し、特に総務委員長としての功績は高く評価されている。

又、ジュニア部門での指導力は素晴らしい、市内ただ一つの男子チーム「ポピンズ」を都大会まで進め、育成された選手は中学、高校等で活躍されている。

貴氏は現在も連盟役員、公認審判員として活動している。



体協研修会

(村山) スポーツ施設を視察

「体育協会幹部研修会」この研修会は、スポーツ活動を運営する立場にいる人達の知識、意識を広げ、積極的にスポーツに取り組み、積極的に実施されるものである。

この研修会を、2月2日(日)全道連より34名が参加し「スポーツ都市宣言」、東村山市のスポーツ施設を見学を行った。

ナイター設備の整った運動公園には、テニスコート、野球場、プールなど、又、9000㎡を越えるスポーツセンターには、第一、

二体育室、トレーニング室、弓道場など、それぞれに工夫された近代的設備を揃えた多数の施設が設けられていた。

中でも関心を持ったのはスポーツ医学室で定期的な実施される市民への健康管理ではないかと思つた。

又、東村山市のスポーツの現況を、体協会長、体育課長より説明を受け、総合体育館建設、スポーツの拡大発展をめざす稲城市には多いに参考になることをお伺いすることができた。



▶説明を聞き入る体協理事の面々

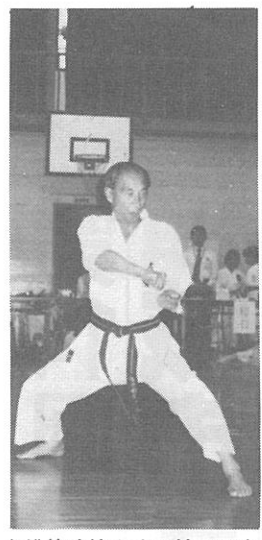
体育館建設審議委員に

石黒実(会長)・須藤正博(事務局長)

体育協会が、13000余名の署名を集め実現に夢を託して4年待望の市民体育館建設の第一歩、「総合体育館建設審議委員会」が発足しました。

この審議委員会に体協より2名の参加が認められ理事会に於いて検討された結果、石黒実会長と須藤正博事務局長を委員として選出しました。

外観より中味、市民の使いやす



▲模範演技をする神田理事

神田実(協理) 全空連六段位を取得

昭和60年度全日本空手道連盟公認6段位審査会(11月9日東京、11月23日大阪)が行なわれました。神田理事は、この6段位に挑戦受験者216名、合格者49名の厳しい難関を乗り越え見事取得されました。

理事は、日頃から空手道の指導育成のみならず、自らに厳しく稽古に励み、先輩の門を叩き辞を低くして教えるを旨、道場に泊り込むなど徹底して自分自身を痛め研究してこられました。

現在、地区審判、全国指導員の資格もあり、空手道も、いよいよ

スポーツ振興に 暖かい援助

こうした中、スポーツの振興発展に、東京稲城ロータリークラブ、及び、宮崎光章氏(白村)より体育協会に対し力強い励ましのお言葉と金一封が贈られた。体育協会は、このご好意に深く感謝するとともに、稲城のスポーツを更に発展させる基金として活用させていただきますことと決定しました。

＝東京稲城
ロータリークラブ＝
＝宮崎光章氏＝

体育協会備品庫完成

体育協会備品庫設立にあたり、長い間、大河原副理事長に保管して頂いてきましたが、各連盟の活動が活発になるにつれ、体協としても備品庫が必要となり、58年度予算より備品庫建設準備金を計上し2年間の努力の結果、自治会と事業助成金と合せて兼てから念願の備品庫が60年8月、南山グラウンド隣接地、百村1110番地先(宮崎光章氏より借用)に完成しました。



昭和61年度稲城市体育協会役員名簿

役職名	氏名	住所	電話	備考
会長	石黒 実	稲城市矢野口 1256	77-6102	
副会長	福島 佐一	稲城市東長沼 563	77-7016	
	高橋 大助	稲城市矢野口 865	77-7700	
会計	吉野 英雄	稲城市大丸 942	77-2528	会長推薦
	志村 寛	町田市鶴間 119-3	0427 96-0636	軟野連
監事	星 菊太郎	稲城市東長沼 1649	77-4643	
	木村 和子	稲城市大丸 139-4-303	77-4449	バレー連
理事長	松浦 里行	稲城市百村 1110-11	77-9280	会長推薦
副理事長	大河原克己	稲城市東長沼 420	77-7650	
事務局長	須藤 正博	多摩市鶴牧 3-17-10-202	72-5280	
事務局員	塩沢サチ子	稲城市東長沼 129	77-5245	
理事	田中 光男	稲城市東長沼 1610	77-3592	会長推薦
	小俣 康祐	稲城市矢野口 1770	77-1408	
	杉本 勇	稲城市押立 518	77-6162	
	国分 淳一	多摩市愛宕 4-1-4-212	74-6942	軟野連
	花山 弘樹	稲城市押立 769-3	77-8024	ソフト連
	宮沢 健一	川崎市多摩区菅仙谷 2-28-5 清風荘 1-5	044 988-2378	軟庭連
	加藤 邦男	稲城市東長沼 1952	77-6005	サッカー連
	田中 芳昭	稲城市東長沼 1141-1 第二松嘉荘	78-1190	硬庭連
	斉藤 博	稲城市東長沼 1411	77-8608	バド連
	神田 実	稲城市東長沼 951	77-5250	空手連
	本間 進	稲城市平尾住宅 43-401	31-7017	卓球連
	山辺 泰	町田市山崎町 1223 C.IハイッC 303	0427 92-6404	バス連
	森 清市	稲城市東長沼 85-2	77-8917	射撃連
	水本 隆太	稲城市平尾 104	31-0686	剣道連
	相馬吉之助	稲城市東長沼 129	77-7843	バレー連
	伊勢川岩根	稲城市坂浜 2866	31-3153	スキー連
	宮坂富士夫	稲城市矢野口 207	77-4557	陸上協(仮加盟)

17回市民大会結果

★バレーボール
一般男子 東京コカ・コーラ
一般女子 ポトリンク
家庭婦人 ポヒークラブ
坂浜

★バドミントン
男子一部S 中島英夫
男子一部W 青木安雄
男子二部W 木村・篠崎組
女子S 増田・小沢組
女子W 小山・山崎組

★卓球
一般男子 飯田・竹内組
男子S 安久津・風間組
男子W 城十鶴子
女子S 西谷・石山組

★ソフトボール
一般男子 飯浜サッカークラブ
一般女子 市立稲城第一中学校
一回戦 対江東区 2:1
二回戦 対府中市 0:2

★硬式庭球
一般男子 関谷忠明
男子S 菊池 功
男子W 飯田・竹内組
女子S 安久津・風間組

★射撃
小学生 齊藤賢
中学生 吉野慈司
高校生 大場賢二
一般男子 新倉 肇
一般女子 沢千登士

★インディアカ
一般男子 給食センター
一般女子 常春会B

★卓球
一般男子 原田仲夫
男子S 長谷川・長谷川組
男子W 荒田洋一
女子S 前田智美

★ソフトボール
男子一部 宿三クラブ
男子二部 中島クラブ
壮年の部 シグナス
女子の部 富士通

★軟式野球
一般男子 富士通南多摩
一般女子 山本連送
軟式部 シヤドーズ

★バスケットボール
一般男子 伊藤・田村組
一般女子 譜連会
中学生 都立稲城高等学校
小学生 市立稲城第四中学校

★軟式庭球
男子A級 高岡・沢崎組
男子B級 大橋・尾川組
女子A級 三浦・林組
女子B級 高岡・筒井組

★ソフトボール
男子一部 宿三クラブ
男子二部 中島クラブ
壮年の部 シグナス
女子の部 富士通

体づくりの輪を広げよう スポーツ教室



▲まず、基本から

好評だった昨年に引き続き、今年もバレーボール指導者養成講習会を市立第3小学校体育館に於いて開催しました。

2月16日開催当日は折からの強風で歩くのもままならない天候でしたが、熱心なバレー愛好者およそ30名の参加者が集まり6時間に渡る講習を行いました。

日本体育協会公認指導員の清水仁明先生を紹介したのは、先生の号令でまず全員が体育館狭くトレーニング開始、続いてストレッチ、体力トレーニングと進み、ボールを持ち出してのパス指導の時には皆さん上衣をぬぎだしたり、額の汗を拭きだしたり、寒風吹き荒れる外の様相とは打って変わる熱気が体育館に充満しました。

参加者のはほとんどは市内のママさんチームやジュニアチームの代表者、選手、コーチでしたが、多摩市からの参加者や一般男子チームの若者も10名近く参加し、お互いにアドバイスしながら先生の指導にこたえていました。

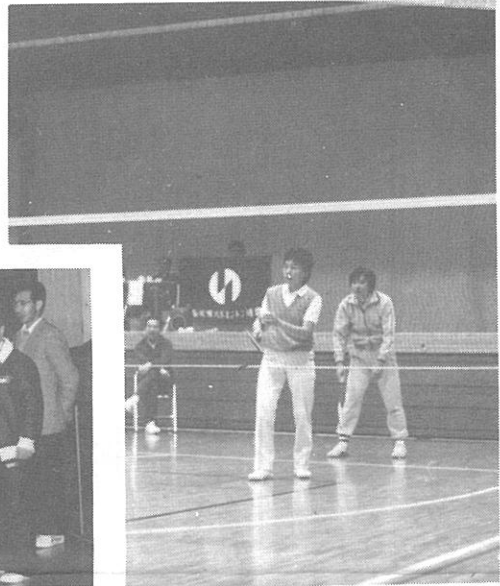
基本技術から総合的なチーム指導に至るまで、時にはユーモアをとり入れての講習に時間の経つのも忘れる様でした。

バレーボールも一般的なスポーツとして全国で普及していますがなかなか良い指導者とめぐりあえないで苦しんでいるチームも多いと思います。こんな今回の講習を機にチーム内の指導者が資質を高め、新しい知識ある指導者が1名でも多く生まれ、多くのバレーボールを育てていただけるとを願ってやみません。

明日の指導者 育成をめざして

バレーボール連盟

稲城を バドミントンの 街に バドミントン連盟



寒さの厳しい1月26日(日)第4中学校で行なった教室は、元全日本チャンピオン、味薔とし子(旧高橋、根岸享(マルマンズポーツ)両氏を講師、松野良一三多摩協会副会長を来賓に迎え、石黒実体協会長の見守る中、100余名の参加者が講義、技術指導を受け、連盟の主旨である技術向上の目的を、一歩ずつ達せられようとしています。

以前と比べ数段のスピードを要求される昨今、参加者は真剣に聞き入って、時間の経過も早く感じられたのではないかと。

稲城において、全日本レベルの技術を目前にするチャンスは無いことだが、3回の教室を実施してバドミントン人口も年々増加しつつあると感じています。

連盟は今年からジュニア(中学生)部門を設け、学校との相互理解を深め拡大を計りながらジュニア育成にも力を入れていきたいと考え、今回の教室に参加を呼びかけ

右 全日本選手を目指して
左 松野三多摩副会長

右 技術指導を受けた事は、今後の練習、試合に大いに取り入れられると思います。

真白いシャトル(羽根)が体育館を飛び交っている様子を想像して下さい。

(評) 味薔とし子先生

特に感じた事はジュニア部門で同年代の差が有り過ぎる事で、どうして差が出るのか不思議です。ダブルスは役割分担ではなく、2人で相手コートに返す、パートナーが相互にカバーする基本原則をもっと大切に。

(評) 松野良一副会長

稲城バド連盟は、まとまりがありこのまま発展してほしい。

今後は、良き指導者の育成に心掛け、三多摩バド協会をもっと利用するように。ジュニア諸君は基礎を大切に、明日の全日本選手を目指して頑張ってください。

(総評) 齊藤博体協理事
(バド連代表)

非常に意義のある教室で、これからの責任を感じた。

当連盟の理事、各団体も運営面にも自信を持って動くようになり積極的に活動してまいります。

今回の教室が定期的開催出来るように、他市団体との交流も積極的に進んで行きたいと思います。

都公認区郡市審判 講習会を主管して

空手道連盟



▲真剣そのもの……実技講習

ルールを熟知せずに指導は不可能であり、又、例年スポーツ大会、市民体育大会に於ける審判員の養成と技術向上が急務であると痛感しておりました。昨年12月、スポーツ教室の一環として「区郡市審判講習会及び審査会」を近隣友好の5区市参加のもと、第3小学校体育館にて開催の運びとなりました。

空手道の審判資格は、都空連B級、A級を経て、全空連関東地区、全国とランク付けされており、本講習会は区郡市に於ける空手道の指導、競技運営には最低限取得しなければならぬ資格の講習会であります。

当初、稲城市単独で開催する計画でしたが、一流の講師を招聘するには参加資格者の員数が当市だけでは不足していること、又、日常練習を共にしている者同志では真剣味に欠ける懸念もあり、友好近隣の区市に参加を呼び掛けたところ、他区市でも同様の必要性を感じており、小平、泊江、調布市、

大田区の参加による合同開催となったわけです。

当日、講師陣には日本選手権主審判員で空手道実力者、藤本貞治先生をはじめ、全関東審判員3名、関東地区審判員4名を迎え、受講者の中には、全日本クラスメンバーも含め30名近い参加者があり、寒い日ではありましたが、午前のルール解説、筆記試験、午後の実技講習、試験と長時間にも拘らず全員が講師の一言一句を聞き漏らさないという真剣な態度で受講し、その熱意には心を打たれるものであります。

審査の結果、筆記試験は全員合格、実技についてはまだ研修を必要とする人も居ましたが最終結果は都空連審判部の資格審査を経て発表されるが、全員合格を祈っております。

今回、この講習会を主管して、受講者の皆さんが今後の指導及び競技会の運営等に必ず好結果をもたらすものと確信しております。

今回で3回目になった、小、中学生を対象とした青少年スキー教室を、1月3日から6日まで、長野県草津スキー場で開催しました。

第1回、2回目と参加しているお馴染みの顔も見られ、不安と期待に胸ふくらませた38名の子供達を乗せたバスが、父兄に見送られ市役所前を出発、一路スキー場へ。

初日、日頃の行いが良いせいか雪不足だったゲレンデに雪が降り出し、子供達のスキー歴を参考に5班に分け、各班に講師がつき、さあ、講習会の始まり。

各班ごとに「最終日には、ここまで出来るように」と最終目標を設定し、午前中は、足慣らしのため、緩い斜面で基礎を中心に講習を行ないました。肩に降りしき雪が積もり、雪だるまのようになっている講習会でした。

お昼は宿に戻り、靴を脱いでゆつくり食事、スキー靴を脱いだときの解放感は何とも言えないですね。

午後になると上級者の班がリフトに乗って、上へ上へと登って行く姿が見られました。

同様の団体が沢山来ている広いゲレンデで、自分達の仲間を見つけると「おい」と手を振る子供達、楽しかった講習は3時半で終了。

夜になると、恒例の「スキー教室の集い」が行なわれ、全員の自己紹介、クイズなどをして楽しいひとときを過ごしました。

二日目、板が雪に馴染んできた子供達は、講師が驚くほど意欲的でしたが、楽しい安全なスキーのために、もっともっと滑りたいと逸る気持ちを抑えながらの講習会でした。

最終日には、講師と子供達の親睦も深まり、最後の仕上げに一生懸命で、最終目標を達成出来た満足げな子供達の顔が印象的でした。怪我人もなく無事稲城に帰ってくる事が出来て、私達スタッフ一同ホッと一息つきました。

大自然の厳しさ、スキーの楽しさ、そして友達との輪、みんなそれぞれ良い体験をした事でしょう。

来年も是非、沢山の入道に参加していただきたいとスタッフ一同今から心待ちしております。

雪はともだち みんな元気一杯に スキー連盟



▲早く滑りたいよう

みんなの雑記帳



稲城シャークス 快勝

稲城シャークス代表 菊地 豊

南多摩親善

野球大会で大活躍

年少野

南多摩大会を制覇して

平尾ジュニア 庄司勝紀

ここ数年、稲城市代表が上部大会で惨敗している。目標を高い所におき、勝負に対する執念を

持たせる為、他地域の強豪チームと試合を組み立ててきた。

昨夏、5市(八王子、町田、多摩、日野、稲城)180チームの優勝、準優勝チームによる南多摩杯争奪少年野球大会に出場、過密スケジュールの為、1、2回戦は

新人戦第3位の強豪チーム、選手達には町田市の決勝戦を見学させてライバル意識を持たせ、目標にさせてきたので試合前からやる気満々で手綱を緩めるのに苦労する程であった。

試合は最初から1点勝負の緊迫した展開となり、5回まで0対0、6回に白軍の3塁打と相手の拙守で1点を挙げ、エースの力投(4安打、7奪三振)でそのまま逃げ切り1対0で遂に優勝。

表彰式での選手達の笑顔を見た時、3年前初めて受けた弱弱しい印象は消え、実に堂々と自信に満ち

が引き継いでくれることを期待している。



「白球の舞」、とまではいかないが、第11回バレーボール連盟会長杯争奪大会が、11月23日、12月22日に開催されました。

大奮

バレーボール会長杯争奪大会

争奪戦大会

バレーボール連盟副理事長 鎌田絹江

この大会も早いもので11年目を迎えます、ますます盛り上がりを見せておられます。

暮も押し迫って何かと多忙の中で大会にも拘らず、優勝チームに授与される「金メダル」獲得を夢み、各チームとも日頃の成果を

発揮し寒さどころか遠くへ吹き飛ばほどの熱戦が繰り広げられました。

子供達の楽しそうな気勢歓声幼な気もチョッピリ残る中学生

白いボールに食いつかんばかりのファイトを見せるママさん



はじめての会長杯

卓球連盟 本週進

第1回会長杯卓球大会が、昨年11月17日(日)に市立第8小学校体育館に於いて4種目に43名が参加し熱戦を繰り広げました。

今大会はより多くの人に気軽にゲームに参加してもらおうと「初参加の部」を設けました。この種目への参加は女性1名を含み5名でしたが、今後多くの人の参加を得られる様努力していきたいと思っております。又、今大会のもう一つの試みに、過去の大会の上位入賞者から10名を連盟で選抜し、リーグ戦を行なう種目「トップアテン」を設けました。この種目は今までの大会にはなかったもので各選手にとっては最後まで激戦の連続であったと思います。次回の大会はより盛り上げられるものにしたかと思っております。

先輩

稲城第2中学校 平野 朗

中体連主催のバドミントン大会も、日南、三多摩と各地区大会を勝ち抜いて東京都大会へと進んでいく仕組みとなっている。

兼ねてから「日南地区は弱い」というレッテルが張られており、事実この地区から三多摩大会に出場した選手は初戦敗退という年が続いた。

我が2中もそうであった。そこで

昭和60年度多摩地区中学校バドミントン新人大会予戦

男子シングルス	優勝 田中 武治
1回戦	神山 信樹
男子ダブルス	優勝 安藤・池田組
ベスト16	井上・岩田組
	野原・渡辺組
	川原・下島組
女子シングルス	1回戦 千葉美 佐子
	網野 尚子
女子ダブルス	1回戦 豊岡(恵)・堤組
	田中・豊岡留組
都大会(シングルス)	ベスト8 田中 武治

裏と表

剣道連盟副会長 熊本勝美

「うらとちもて」すべて物事に裏表がある。紙の裏表は言うに及ばず、茶道の流儀、生花の手法、テレビの番組にしてもそうだ。

剣道にもある。剣先を互に交差して、相手の左側を表、右側を裏という。

宮本武蔵「五輪書」に五つのおもての次第と言ふ簡易がある。この、表は入門、入口ではないかと思ふ。表を入口とすれば裏は裏、裏表は見方のちがいであって中身は一つではないか。

編集後記

各連盟の方々多教の原稿ありがとうございました。編集委員も、今までにない連日連夜の努力の結果、発行にこぎつけました。



編集委員長 齊藤 博

委員 高橋 大助

須藤 正博

加藤 邦男

伊勢川岩根

相馬吉之助

叶 雅樹

山辺 泰